

2018

JAしまねびより

1

January Vol.22

特集 島根のいいもの再発見!! 「松江市 キャベツ」 くにびき地区本部



Xaomichi

雪の松江城



謹んで新春の

お慶びと

申し上げます

新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員のみなさまには、新しい年を穏
やかに迎えるのとお慶び申し上げま
す。

おかげさまでJAしまねは統合後3回
目の新年を迎えることとなりました。

これもひとえに組合員のみなさまをは
じめ、地域のみなさまのご理解とご協力
の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、「農業者の所
得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性
化」を最重要課題として、各事業や取り
組みにおける自己改革と統合メリットの

創出に取り組んでまいりました。

営農関係では農業振興支援事業、生産
資材の価格低減、米の買取制度をはじめ
販売対策強化、TAC（地域農業の担い
手に向くJA担当者）による営農情報
提供や記帳代行、認定農業者支援資金な
どの担い手支援に取り組み、また、地域
の活性化としては、業績還元の実施と地
域活動への活用、地域貢献・地域活性化
に取り組まれた団体の表彰と活動資金支
援、女性部活動や子育て支援、地域イベ
ントなどを通じ、地域全体での活性化に
取り組んでまいりました。

さて、本年は「第1次中期経営計画」

代表理事組合長 竹下 正幸

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 松浦 宗和

役職員一同

と「農業戦略実践3カ年計画」の最終年
度にあたります。計画に掲げています「持
続可能な農業の実現」や「豊かであらうし
やすい地域社会の実現」「地域に根差し
た協同組合の役割発揮」に向け、総仕上
げの年として、更に実践をすすめてまい
ります。

計画を完遂するためには、JA事業・
組織にかかる自己改革の実践が不可欠で
ありますが、「組合員のみなさまのお役
に立てているのか」「組合員のみなさま
から求められているサービスを提供でき
ているのか」「組合員のための改革で自
分は何ができるのか」を役職員一人ひと

りが真剣に向き合い常に考え、広い視野と新しい発想、そして改革していく意識を持つことが重要であり、そうした取り組みを一つ一つ実践に移していくことが自己改革であると思います。

組合員や地域住民のみなさまのご期待に応え、JAの健全経営と更なる事業改革・組織改革をすすめていくため、担い手農家をはじめ組合員のみなさまとの話し合いをより活発なものにし、忌憚のないご意見を聴かせていただき、みなさまの声を事業や取り組みに活かし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」につながる自己改革の一つでも多く実践し、JAは変わったなと言ってもらえるよう取り組んでまいります。

今後も、みなさまから選ばれ、信頼され、ご利用いただけるJAに向けて、役員が一体となり取り組みを行ってまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

組合員・地域のみなさまにとって本年が幸多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十年一月

代表理事組合長 竹下 正幸

自己改革実践中

「自己改革の実現」を発行しました

JAしまねでは、統合時より統合メリツトの発揮に併せて自己改革の実現に取り組んでいます。その実践状況についてみなさまにお知らせするため、取り組み状況をまとめた冊子「自己改革の実現」を昨年7月に発行致しました。

正組合員のみなさまのお宅を中心に配布させていただきますが、支店窓口にも冊子を備え置かせていますので、是非ご覧いただけますようお願い致します。
(冊子の内容は当JAのホームページにも掲載しています)



みなさまのご意見・ご要望を聞かせください

担い手の方が参加される集会や認定農業者の方のご自宅等に当組合の役員がお伺いし、JAへのご意見やご要望をお聴きする機会を昨年11月より順次、増やしています。協同組合は組合員のみなさまが主役で

す。組合員のみなさまからいただいた意見を事業運営につなげるよう、これまで以上に努力して参りますので、ぜひとも忌憚のないご意見をお願い致します。

自己改革に関する調査(アンケート)へのご協力をお願いします

JAしまねでは、現在取り組んでいる自己改革の内容についてみなさまのご意見をお伺いしたく、3月に自己改革に関する調査(アンケート)を実施させていただきました。今回の調査は、無作為で選ばせていただいた方に回答をお願いする予定です。対象となった組合員のみなさまにおかれては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い致します。

JAしまねでは、より一層、組合員のみなさまの期待に応え、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなるよう、今後アンケートの実施や集会等を通して、みなさまの声を聴き取る機会を増やして参ります。引き続きJAの事業、活動へのご理解、ご協力を何卒お願い致します。

※12月に郵送で実施させていただいた「組合員アンケート」とは別のアンケートです。本アンケートは、3月に職員の見聞により実施させていただきます。



島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【松江市 キャベツ】

1月は、くにびき地区本部。松江市東出雲町で、新規就農し、キャベツを栽培する高松和範さん、JALしまね中海干拓事業所の小室陽二所長のお二人にお話しをお伺してきました。



高松和範さん

新規就農したきっかけを教えてください。

高松さん 大学を卒業しNPO法人で働いている時、農業に接する機会がありました。

広大な土地でたくさん野菜を生産するのに魅かれ、転職を決意。JAさんと松江市が行なっていた「だんだん営農塾」に参加し、東出雲町の中海干拓地で盛んに生産されている、通称「くにびきキャベツ」の栽培をはじめることになりました。地元の農業者の野津一修さん・松田純一さんに師事し、研修と並行して2年間、現場で経験を積みながら学びました。その後独立し、今年で4年目になります。7〜9月頃に苗を定植して、収穫はおもに10月から翌年6月頃まで行っています。1年目



真剣な眼差しが、高松さんの熱い想いを物語っていました

くにびきキャベツとはどのようなものですか？

は1・8ヘクタールの面積で生産を始め、現在は3ヘクタールまで栽培面積を増やしています。

小室さん 松江地区でのキャベツ栽培はほとんど、この中海干拓地の掛屋工区で栽培されています。全体の作付面積は約37ヘクタールで、2016年は秋の長雨等の影響もあり、例年より少ない、730トン出荷しました。年間の目標出荷量は、多い時の実績と同じ、1,000トン以上を目標にしています。営農当初は栽培面積を拡大しても生育が不安定な時もありま



広大な農地で栽培されるくにびきキャベツはこれから最盛期を迎える



中海干拓事業所にある集荷場から市場へ



した。そのため、定植後の生育にに応じて作型ごとの農薬散布を行う設定になっていた防除暦を、秋冬キャベツの全作型・全品種で一度に防除できるように「一斉防除方式」に改めました。適期に一斉防除のある薬剤によって一斉防除するので、結果的に防除回数も減少。害虫防除を効果的に防ぐことができるようになりました。また、高い安全性と

優れた品質を兼ね備えた産品を認定する「美味しまね認証」を生産者全員が取得。大阪を中心に出荷していますが、品質にこだわった結果、おかげさまで関西を中心に「島根キャベツ」ブランドとして高い評価をいただいています。

干拓地での営農開始から約30年が経過していますが、何か課題はありますか？

小室さん 地区管内全体の農地と同様に、営農者の高齢化等の要因もあり、作付休閑地が依然として見受けられます。松江・八束くにびきキャベツ部会の会員は現在46人、平均年齢はざっと65歳です。そこで松江市と共同で新規就農者の確保に取り組んでおり、後継者育成のための今年で6期目となる「だんだん営農塾」事業を行っています。卒業生である高松さんのような若い30代前後の新規就農者が面積拡大を図っているの、なんとか現状を維持しているところ。高松さんのような新規就農者が増えて欲しいと、努力を続けているところです。



「雪が降ろうが!」という高松さんのような存在が心強い

就農された感想と今後の抱負を聞かせてください。

高松さん 広大な畑で、専用包丁を使って1個1個、手作業でキャベツの根元を切り落とし収穫します。何千、何万个とあり、ひたすら同じ作業を続けなければなりません。

松江市 キャベツ 一口メモ

中海干拓事業は昭和38年から行われ、旧八束郡東出雲町と松江市意宇町からなる揖屋工区は平成元年度に完了した。地区面積は323ヘクタールで、そのうち農地面積は202ヘクタール。栽培品目で規模が大きいものは、牧草約38ヘクタール、キャベツ約37ヘクタール、津田かぶ約9ヘクタールとなっている。このほか、作付け準備状態のほ場が約20ヘクタール、作付け休閑状態のほ場は約34ヘクタールあり、地区内農地の30パーセント弱で、担い手が不足している状態。高松さんのような新規就農者を増やす努力をJAしまねや行政が一丸となって続けている。年間を通じて美味しいキャベツ作りにこだわっており、適度に歯ごたえがあって、みずみずしさに優れた干拓地のキャベツが「島根キャベツ」として関西を中心に高い評価を得ている。

また、「くにびきキャベツ」は「美味しまね認証」を取得していることにより2020年オリンピックで使用することも可能な野菜である。



出荷のピークを迎え、規模拡大を念頭にした高松さんの毎日の戦いが続く



作業自体は単調な仕事ですが、農業をするのが好きなので、単調な仕事でも頑張っています。

いけます。また、周りにキャベツを作っている人がたくさんいるので、困った時には相談できるのが、新規就農をするにあたって心強く感じました。研修時代に大変お世話になった師匠の栽培規模は、はるかに大きい。当面は現状の面積を維持しながら、機会を見て規模を拡大し、いつの日か師匠に追いつければと思います。

雲南

ブランド米振興大会 生産者ら意欲高める

雲南市水田農業担い手協議会が主催する「平成29年度雲南市ブランド米振興大会」が12月6日、同市木次町のチェリヴァホールで開かれ、生産者や関係者ら約70人が参加。つや姫生産の研修や優良生産者の表彰を行いました。

平成29年度優良生産者表彰では、田中政明さん（大東町）と農事組合法人春石（大東町）が選ばれ、さらに田中さんは雲南市長杯を、農事組合法人春石は、JAしまね雲南地区本部長杯を受賞しました。

平成28年産米からブランド米として取り組みを始めた雲南市プレミアムつや姫「たたら焔米」は、一定の要件を満たしたワンランク上のつや姫として、市とJAが認定したお米。

作付面積や生産者も増えた中で2年目を迎え、同協議会の渡部彰夫会長は「雲南市のブランド米が全国に広まるよう、皆様方と苦難を乗り越え取り組んでいきたい」と話しました。



左から速水市長、田中さん、渡部会長、農事組合法人春石、加藤本部長

くにびき

くにびき女子大 玄丹そばでそば打ち

くにびきサンサン女子大は12月2日、教育文化センターSan・san館で、松江市特産の「玄丹そば」を使ったそば打ち体験講座を開催しました。32人の学生が参加し、玄丹そばのおいしさを体感しました。



当日は、地元のそば打ち名人・細田純夫さん（玉湯町大谷）を講師に招き、そば打ちに挑戦。細田さんから「水加減に注意してこねて」「円盤状に広げながらのぼすように」などと実演つきのアドバイス

を受けながら、真剣な表情でそばを打ちました。

講座終盤には、細田さんによる打ちたてのそばを全員で試食。「普段食べているそばより香りがよくておいしかった。自分で打ったそばを家で食べるのが楽しみ」などと感想を話しました。



そばをこねる学生

隠岐

来店感謝デーを実施

隠岐地区本部は12月15日、管内4か所の支店窓口で、日頃のご愛顧に対する感謝をこめて、「隠岐地区本部 来店感謝デー」を開催しました。イベントの開催にあたって、事前にチラシ配布を各支店窓口等で行い、当日には通常来店人数の2倍近くのたくさんの利用者の方にご来店いただきました。

ご来店いただいた方にはクジ引きをしていただき、「冬の風邪予防対策」をコンセプトとした「加湿器」「自動ハンドソープ機」など関連グッズのプレゼントをしました。来店者からは「いつも楽しみにしているよ」「来てよかったわ」など言っていました。



やすぎ

やすぎのエコ白ネギをアピール

やすぎ白ネギ部会は12月2日、雲南市のみしまや三刀屋店で安来のエコ白ネギの販売イベントを行いました。エコ白ネギは、通常の栽培に比べて化学肥料を県基準の半分にしている栽培しており、環境に優しいのが特徴で、今回のイベントでは100束を販売しました。

また美味しいエコ白ネギを実際に味わってもらおうと、エコ白ネギを50本使用した白ネギ豚汁を無料配布し美味しさをアピールしました。試食した方は「ネギが甘くてすごく美味しい!買って帰るわ!」と好評でした。同部会の山本進部会長は「今後もイベントなどを通じて、安来のエコ白ネギをアピールしていきたい」と意気込みを語りました。



新鮮なエコ白ネギ



販売、試食の様子

斐川

あぐり探検隊 餅つき・そば打ちを体験

斐川地区本部は12月10日、斐川営農総合センターで、農業体験活動「第5回あぐり探検隊」を開きました。今回の活動では、餅つきとそば打ち体験を行いました。

餅つきでは、隊員が田植え、稲刈りを自ら行ったもち米を使用。事務局とJA斐川女性部の指導により、臼と杵を使って餅つきを行い、隊員たちは楽しそうに力強く杵を振り下ろしていました。

そば打ちでは、荘原地区の高橋義孝さんと糸賀充さんの指導の下、斐川産のそば粉を使用し、隊員たちは真剣にそば打ちを体験しました。

JAでは次年度以降もあぐり探検隊などの活動を通して子どもたちに食と農について学ぶ機会を提供していきます。



石見銀山

オリジナルカレンダー完成

石見銀山地区本部は12月20日、オリジナルカレンダーを発行し、JA職員が「ふれあいの日」に、管内組合員宅へ配布しました。同地区本部オリジナルカレンダーは、毎年発行しています。

2018年版は、大田市仁摩町の「琴ヶ浜」がテーマ。今年の10月13日に、国の天然記念物に指定告示されたことを記念して制作しました。琴ヶ浜海岸の他、江戸時代から現在まで受け継がれている同町宅野地区の「宅野子ども神楽」や世界最大の砂時計「砂暦」が設置されている「仁摩サンドミュージアム」、左官職人が民家や土蔵の壁に漆喰を使って施した造形物「鏝絵」など同町の伝統文化や名所の写真が各月を飾ります。

地元写真家や市、県の観光協会などの協力を得ながら完成しました。



琴ヶ浜が表紙を飾るJAオリジナルカレンダー

隠岐 どうぜん

隠岐島前農政会議が発足

隠岐島前農政会議は11月20日、海士町マリンポートホテルで設立総会を開きました。隠岐どうぜん地区本部が中心となり設立に向けて準備を進め、同日発足しました。

発足式の冒頭で新谷徳昭本部長が設立趣意書を読み上げ、農業者の自主自立な組織として、JAグループと連携して農業・農村の振興を図り、一致団結して相互研鑽と情報の共有など、県内および全国の仲間とともに農政運動を展開していくことを確認しました。

当日は島根県農政会議の石倉茂美会長を来賓に招き、祝辞をいただきました。石倉会長は、当地区本部での発足により島根県全域で農政会議が組織されたことを喜びとともに、その意義について話しました。

総会では同会議の規約の他、活動計画や収支予算案などが承認され、会長に西ノ島町の口村光房さん、副会長に知夫村の向濱樽幸さんが選任されました。また、委員2人、監事2人が初代役員として選出されました。



選出された初代役員（左から、口村会長、南敬二監事、板谷栄一委員、村上良夫監事、美濃芳樹委員）

出雲

JAしまね出雲しいたけ部会 年末講習会開催

JAしまね出雲しいたけ部会は12月5日、島根ワイナリーで年末講習会を開催しました。部会員、行政関係者、JA役職員ら約53人が出席。市場情勢や今年の出荷状況を確認したほか、年末に需要のピークを迎えるにあたって、株式会社北研から講師を招き、水管理や温度管理など栽培方法について講習を受けました。

同部会の栽培する菌床生しいたけ「神々の国 出雲しいたけ」は肉厚で市場からの人気も高く、当日出席した各市場関係者は「年末の需要期にたくさん出荷してもらいたい」と要請しました。

同部会では、島根県独自のGAP制度「美味しまね認証」の取得に部員一丸となって取り組んでおり、11月には島根県・JAの担当者らが部会員65戸を巡回し現場改善を行うなど、同認証の団体取得に向け大詰めを迎えています。同部会の三島茂部会長は「競争も激しい中、認証取得で安全・安心をPRできることは大きな強みになります。一人も乗り遅れることなく、『美味しまね認証』の列車に乗ってもらいたい」と呼びかけました。



認証取得に向け気運を高める三島部会長

西いわみ

農業青年クラブが「わんぱくらんど」収穫祭を開催

津和野町農業青年クラブ（会長石橋康邦）は12月8日、同町後田の津和野町町民センターで「わんぱくらんど」の収穫祭を開きました。

田植えや稲刈りなどの農作業を通して、農業に親しんでもらい食べ物の大切さを学んでもらおうと平成9年から始めた「わんぱくらんど」は今年が21回目となります。

当日は、同町田二穂地区の水田で園児らが春に植え、秋に刈り取ったもち米「ヤシロモチ」を使い餅つきをして収穫を祝いました。



島根おおち

ドライブレコーダーで安心・安全に貢献

島根おおち地区本部は12月13日、管内の安心・安全に寄与することを目的として、公用車に設置したドライブレコーダー等の記録データを提供するための協定を川本警察署と締結しました。

協定締結式は川本警察署で行われ、生活安全刑事課の足立大樹課長が協定内容の説明をした後、同署の坂根英明署長と同地区本部の日高光弘本部長が協定書へ署名調印しました。

同地区本部では、社会貢献や役職員の交通安全に対する意識の向上を目的として、公用車にドライブレコーダーを設置しました。公用車は約120台あり、12月から順次設置して今年度は50台に設置しました。残りの公用車については、来年度以降に計画的に設置していく予定です。

今後、ドライブレコーダー等の記録データを捜査情報等として提供することで交通事故の抑止、事件事故の捜査活動、災害に対する危機管理等に活用し、管内地域住民の生活の安全、安心に寄与することを目指していきます。



本店

第19回島根県家の光大会を開催

JALまねとJALまね女性部は12月6日、出雲市のラピタウェディングパレスで第19回県家の光大会ならびにJALまね女性部研修会を開き、家の光愛読者や女性部員など約170人が参加しました。

くにびき、雲南、出雲の各地区本部の愛読者による記事活用体験発表では、「輝く～私たちのえんまん座～」と題して、『家の光』への掲載をきっかけにメンバー拡大などに取組んだことを発表した出雲地区本部の飯國恵美子さんが最優秀賞に選ばれました。飯國さんは来年2月に横浜で開催される全国家の光大会に県代表として出場します。

また、研修会では、NPO法人コミュニティスクール・まちデザインの近藤恵津子理事長が「食の安心・安全について～食品添加物と表示について～」と題して講演しました。



表彰状を受ける飯國さん（右）と、表彰状を読み上げるJALまね山根盛治副組合長

いわみ中央

消費者交流会 冬野菜を使ってキムチ作りを学ぶ

いわみ中央地区本部は浜田市黒川町のふれあいホールで12月5日、浜田市と共催で産直交流会を開き、市内から29人が参加しました。

講師に浜田市弥栄町在住の朴銀環さんをお招きし、旬の野菜である地元産の白菜、大根を使った白菜キムチ、大根キムチ作りの実演を交えた講義を行いました。実演では、白菜の塩漬の行程や大根を均等に切る方法など、事前準備の大切さなどの説明を受けました。

参加者は、「説明がとても丁寧で分かり易くて良かった。次回もこのような講習会が開催されれば是非参加したい」と話しました。



白菜キムチ



大根キムチ

平成29年度 西部地区子牛共進会を開催



10月27日に西部家畜市場で開催し、西部地域（いわみ中央地区本部・西いわみ地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛16頭の出品がありました。

当日は秋晴れの中、審査員の厳密な審査により、最優秀賞には、益田市「田原 正太」さん出品牛「はな2号」が選ばれました。

審査風景



個体審査

比較審査

●西部地区子牛共進会授賞目録

区分	番号	住所	氏名	区分	番号	住所	氏名	
最優秀賞	9	益田市	田原 正太	首席	1	益田市	伊藤 宣男	
優秀賞	15	益田市	佐々木恵美	優良賞	4	津和野町	石川 公芳	
	13	益田市	田原 武吉		6	浜田市	長田 長正	
	3	浜田市	佐々木祥二		7	益田市	河野 将樹	
	16	津和野町	京村 真光		8	益田市	南中島ファーム	
	11	浜田市	藤本 邦弘		12	益田市	橋本 政喜	
	10	浜田市	佐々木祥二		14	津和野町	京村 真光	
	2	浜田市	樋口 誠二					
	5	益田市	澤江 寛美					

平成29年度 島根中央子牛共進会を開催



11月10日に島根中央家畜市場で開催し、東部地域（くにびき地区本部・やすぎ地区本部・雲南地区本部・斐川地区本部・出雲地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛40頭の出品がありました。

今年度は、秋晴れの下、皆様のご協力もあり全課程を野外審査場で行うことができました。

成績につきましては、各区の優秀賞首席に1区 奥出雲町「佐藤 治巳」さん出品牛「かつざくら号」、2区 安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が授賞され、グランドチャンピオンには、2区、安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が選ばれました。

各受賞結果は右記のとおりです。

審査風景



●島根中央子牛共進会授賞目録

	出品№	第1区			第2区		
		住所	氏名	出品№	住所	氏名	
島根県農業協同組合長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
	(各区:次席) 19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町	新宮 茂	
	(各区:3席) 20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市	渡部 学	
	(各区:4席) 6	奥出雲町	勝田 律江	34	奥出雲町	松浦 雅子	
	(各区:5席) 17	出雲市	杉山 利夫	38	雲南市	高島 幹雄	
島根県知事賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
島根県家畜商組合理事長賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
島根県家畜人工授精師協会会長賞	グランドチャンピオン				31	安来市	田辺 和正
全国和牛登録協会島根県支部長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
島根県畜産振興協会会長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
J A西日本くみあい飼料株式会社社長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
島根県農業共済組合連合会长賞	(各区:次席) 19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町	新宮 茂	
島根県獣医師会会長賞	(各区:3席) 20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市	渡部 学	

支店窓口（金融共済等）の営業開始時間変更について（お知らせ）

支店窓口（金融共済等）の営業時間

平成30年3月30日まで

午前8時30分～午後3時00分
（一部支店で開店・閉店時間が異なります）



平成30年4月2日より

午前8時45分～午後3時00分
（一部支店で開店・閉店時間が異なりますので、ご利用の支店のお知らせを御覧下さい）

支店窓口（金融共済等）の営業時間開始につきまして、上記のとおり変更させていただきます。組合員・利用者の皆様にはご不便をお掛けしますが、今後とも一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

両替手数料改定のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

平成30年4月2日から、**両替手数料を改定**させていただきます。今後とも、当JAでは、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

◎両替手数料（改定後）

お取扱枚数	窓口手数料（消費税込）
1～49枚	無料
50～500枚	324円
501～1,000枚	648円
1,001～1,500枚	972円
以降500枚ごと	324円加算

※有料となる両替には、新札への両替、現金のお引き出しの際に、新札および金種をご指定される場合を含みます。
 ※お取扱枚数は、ご持参（両替前）の枚数、お持ち帰り（両替後）の枚数のいずれか多い枚数が基準となります。
 ※大量の硬貨により貯金をご入金される場合には、両替手数料をいただきます。
 ※両替・金種指定払出・大量硬貨入金のうち、複数種類の取引をされる場合は、いずれか枚数の多い取引で手数料をいただきます。
 ※同種類の取引を複数される場合は、合計枚数の手数料をいただきます。
 ※汚損現金・記念硬貨の交換は無料です。

新年のご挨拶



地区本部長 井上 宗治

新年明けましておめでとうございます。組合員・利用者の皆様にはすこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、JAしまねいわみ中央地区本部の事業活動につきまして格別のご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。おかげをもちまして29年度事業につきましては概ね計画通りの事業運営をさせていただきました。

昨年を振り返りますと、地域農業においては夏場の高温や9月以降の天候不順等の影響を受け、米の品質、収穫量が減少した一年となりました。

又、米の買い取り制度につきましては、買取価格のより精度を高めるため12月追加払いの二段階制度を導入しました。米集荷に対しご理解、ご協力いただきましたこと感謝いたします。

国においては、農業改革、農協改革、日・EUのEPA、米国を除くTPPの大筋合意など農業や系統組織に先行き不透明感のある施策が次々と打ち込まれました。

一方経営環境も、少子高齢化の進展による人口減少やマイナスイノベーション政策等の要因により予断を許さない状況です。

そうした環境下の中で、JAグループ全体と

して、自己改革の実践が求められております。

いわみ中央地区本部といたしましては、JAしまねの自己改革の実践と組合員の皆様との対話を軸に左記の三点を運動の柱に掲げ組合員、利用者の負託に応えるべく役員一丸となって頑張る所存でございます。

1. 信頼される農畜産物の提供と農業者の所得向上

2. 地域社会に貢献する協同活動の展開

3. 組合員の負託に応える運営の実践

一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様方のご多幸を祈念し年頭の挨拶といたします。

島根県農業協同組合

いわみ中央地区本部

- | | | |
|------|------|-------|
| 常務理事 | 本部長 | 井上 宗治 |
| 常務理事 | 副本部長 | 佐々木 豊 |
| 理事 | | 本田 誠 |
| 理事 | | 中東 多夫 |
| 理事 | | 森井 和朝 |

～新年あけましておめでとうございます～
本年もご愛顧の程、よろしく願い申し上げます

きんさい市場黒川店・周布店



黒川店
(JALしまねいわみ中央地区本部敷地内)
浜田市黒川町 3741
☎0855-22-8827
営業時間 8:30～18:00(4月～10月)
8:30～17:00(11月～3月)
(1月～3月/日曜日 定休日)

周布店
(JALしまねいわみ中央地区本部浜田西支店敷地内)
浜田市周布町イ 425
☎0855-24-7700
営業時間 9:00～15:00
(土・日・祝日休み)

「道の駅サンピコごうつ」



江津市後地町 995-1
☎0855-55-3151
営業時間 9:00～18:30(木曜日は定休日)
定休日が祝日の場合は営業

地域交流プラザ「まんてん」



浜田市旭町丸原 1529-11
☎0855-45-8039
営業時間 7:00～21:00(年中無休)

第39回

みどりをまもる小学生作文コンクール

入賞おめでとうございます

この度は、銅賞入賞おめでとうございます。

このコンクールは、昭和54年から始まり、今年度で第39回目となります。子ども達の感性豊かな心と体験をもって、素晴らしい作文が数多く書かれています。今年度の浜田市立波佐小学校2年佐々井君の作品は、地域の自然を大切に思う気持ちや生きる力を育てている事があらわれている素晴らしい作品です。これからも自然や農業に対する思いをたくさん持ってほしいと思います。ご協力をいただきました小学校の諸先生方に心よりお礼を申し上げます。

J Aしまねいわみ中央女性部



浜田市立波佐小学校2年
佐々井 臣さん



はぎのほたる

浜田市立波佐小学校
佐々井 臣

ぼくがすんでいるはぎには、すふ川があります。すふ川には、ほたるがたくさんすんでいます。六月に、ほたるについての話を聞きました。はぎのほたるをほぞんするとりくみをしておられる大西さんが学校にこられました。はぎには、ゲンジボタルがすんでいます。ほたるは、よう虫のとき、カワナという虫をたべて大きくなります。昼は、川の石の下にかくれています。土にもぐってさなぎになります。そして、ようやく川の近くをどぶごとができます。ほたるのおすめすとけっこしたいので、おしりをピカピカ光らせていっしょうけんめいとびます。でも、ほたるは一しゅうかんぐらいしか生きることができません。とてもみじかい人生です。大西さんは、「これからも、はぎでほたるがどぶようになまもっていききたい。」
といっておられました。ぼくが大人になってもほたるがどぶごとができるよ

うに、ぼくにもできることがないかなあとかんがえています。

七月に大雨になりました。ぼくは、川の近くのすんでいるので、夜中にこうみんかんへひなんしました。家がどうなるかなあとしんぱいしました。ふと、川にいるほたるもどうしてるかなと考えました。大雨でほたるがながされてしまったかとも思いました。

大雨のあと、ちいきの人が川でほたるがとんでいるのを見たそうです。それを聞いて、あんしんしました。

ぼくがすんでいるはぎは、ほたるがいます。六月のおわりごろ、すふ川で、たくさんほたるがとんでいます。ちいきの人は、ほたるをこれからもたいせつにそだてていこうとがんばっておられます。ぼくも、毎年、ほたるを見ることができるよう、ほたるのかんさつをしたり、ちいきの人の手つだいをしたりして、いこうと思えます。





営農情報

あぐりノート

教えて野菜作り!

2018年1月号

新年明けましておめでとうございます。



本年戌年は十二支の中では11番目に位置しています。戌年の戌の字は「滅」に繋がるようですが、それは滅びや朽ちるという意味ではなく「新しい命を守る」という意味があるようです。このことから、赤ちゃんを宿し時期がくると、縁起のいい日とされる戌の日に腹帯を巻きます。安産のためだけでなく「赤ちゃんを守ってもらう」という意味もあったのですね。

そして、古くから人と関わりの深い犬。人のために戦ったり、命を救ったという伝説も多く残ります。犬はお産が比較的軽いことから、安産や子宝祈願の守り神としての信仰が厚く、今も多くの妊婦さんがお参りに訪れます。

ペット健康祈願やペット用のお守りといったグッズも豊富に扱う神社仏閣もあるので、今年は愛犬の幸せと一緒に祈願するのもオススメです。

2年ぶりに年の初め家庭菜園に関する問題を出題しました。それぞれ自分のレベルを確かめてください。今年もおいしい野菜を作りましょう。

1 種の発芽に、必ずしも必要ないものはどれか？

- ①光
- ②温度
- ③水
- ④酸素



2 同じ科に属する野菜だけを組み合わせたものはどれか？

- ①キュウリ、トマト、オクラ
- ②ナス、ピーマン、サトイモ
- ③ハクサイ、ブロッコリー、ダイコン
- ④レタス、シュンギク、キャベツ

3 酸性土壌でもよく育つ野菜はどれか？

- ①タマネギ
- ②ブロッコリー
- ③スイカ
- ④トマト



4 ダイコンについての説明で、間違っているものはどれか？

- ①「ダイコン十耕」というように、よく耕してから種をまくとよい
- ②育苗をしてから植え付けると、また根になりにくい
- ③2～3回間引きながら育てる
- ④ダイコンは春まきと秋まきで栽培することが多い

5 ハクサイの結球についての説明で、間違っているのはどれか？

- ①結球は外葉が20枚くらいになり、気温が15～17℃になると始まる
- ②結球は生理現象で、オーキシンという植物ホルモンが関与している
- ③ハクサイを結球させるには、縄でしばるなどと効果がある
- ④ハクサイの結球は葉の数と大きさが比例する

ので、結球するまでに株をできるだけ大きくすることが重要である

6 ホウレンソウが最も甘くなる時期はどれか？

- ①だんだんと気温が暖くなる春
- ②日長がだんだんと長くなる初夏
- ③日長がだんだんと短くなる秋
- ④霜が降りるくらいに気温が下がる冬

7 畝の役割の1つとして適切なものはどれか？

- ①風をさえぎる
- ②保水性を高める
- ③通気性を高める
- ④保肥性を高める



8 種まきから収穫までの栽培期間が、80日を超える野菜だけを組み合わせたものはどれか？

- ①ハクサイ、コマツナ、キュウリ、ミニトマト
- ②ブロッコリー、ホウレンソウ、ピーマン、ゴーヤー
- ③長ネギ、キャベツ、ナス、トマト
- ④ニンジン、タマネギ、シュンギク、カボチャ

9 大きく育ったトマトの実に、急にヒビが入る原因として考えられるものはどれか？

- ①低温障害
- ②土壌水分の急激な変化
- ③窒素肥料の過剰
- ④リン酸肥料の不足

10 肥料の施し方に関する説明で、間違っているのはどれか？

- ①同じ野菜でも、季節によって肥料の量を加減する
- ②野菜を育てるには、常に一定量を施す必要がある
- ③同じ野菜でも、天候に合わせて肥料の量を加減する
- ④肥料不足で葉色が悪くなったときには、追肥を施す

解答 ①—1 ②—3 ③—3 ④—2 ⑤—3 ⑥—4 ⑦—3 ⑧—3 ⑨—2 ⑩—2

肉用牛研修会開催



いわみ中央種畜共進会運営協議会（会長 井上宗治氏）は、12月22日（金）いわみ中央地区本部において平成29年度肉用牛研修会を開催しました。この研修会は、管内の和牛改良及び飼養管理技術向上目的に開催するものであり、当日は生産者並びに関係機関約30名が参加しました。研修として

公益社団法人全国和牛登録協会鳥根県支部副支部長小林健宣氏より「和牛改良の現状」と題して講演をいただき、続いて西部農林振興センター浜田農業普及部普及員藤田伸哉氏より「冬季の飼養管理について」冬場での飼養給与のポイント等講演いただきました。研修後は、「全共・担い手対策等にかかわる和牛改良組合との意見交換」を行いました。意見交換では、鳥根県農林水産部鳥根和牛振興グループ、公益社団法人全国和牛登録協会鳥根県支部、鳥根県農業協同組合営農経済本店畜産課に出席いただき今年開催された宮城全共の結果を含めての次回開催される鹿児島全共への取組、今後の畜産振興に向けての担い手対策について相互で意見交換しました。



いわみ中央産直振興協議会 生産履歴記録（栽培日誌） 説明会を開催！



いわみ中央産直振興協議会（会長 松本昭二、産直会員980名）は、11月15日（月）12月1日にかけて各支部12会場で生産履歴管理システム導入に伴う説明会を開催し、311名が参加しました。生産履歴の取組は、安心して信頼できる産直市を目指し「生産履歴管理システム」の導入により、農産物の農薬誤使用事故の未然防止をはじめ、農薬の誤使用農産物販売リスクの低減、消費者の信頼喪失の回避を目的として取組みます。

説明会では、生産履歴記録（栽培日誌）の取組について、今までの会議等の中で出た質問をQ&Aとして整理し、Q&Aを交えて説明を行いました。産直会員からは、その他にも多くの質問を頂き今後の宿題をいただきました。生産履歴管理システム導入は平成30年3月を予定しており、それまでには、いろんな問題を産直会員のみならず一緒に解決して行く事を約束しました。



今年度初の県外へ！ 地元食材の良さをPR

いわみ中央菌床椎茸生産部会・菌床平茸生産組合は12月5日（火）（株）ホープライブ（鳥取県米子市）で、消費拡大を目的にきのこ試食販売を行いました。

当日は生憎の空模様となり、お客様は比較的少なかったものの、JA担当者や生産者の対面販売を行い、生椎茸・平茸を販売しました。試食コーナーも設け、一人一人に生椎茸と平茸の味の違いを知ってもらえるように食べ比べを実施し、お客様からはどちらも大変おいしいと好評でした。

また、消費者からは「いつも鳥根県産のきのこを買わせてもらいたい、肉質でボリュームがあって良い。今回始めて生産者自ら食べ方を教えてもらい、家でも出来る簡単な調理なのでぜひやってみたい。」との声がありました。

生産者は「今回、初場所での試食販売で県外の方にもこれまで以上にきのこを知ってもらい良かった。また、近くに学校があったこともあり、若い世代に多く試食に來もらえ、次世代にもつながる活動になったので、今後も継続的に取り組みたいです。」と意気込みを話しました。



産直トピックス

第8回営農塾を開催！

いわみ中央地区本部では、12月13日（水）参加者12名で営農塾が開催されました。

座学では、西部農林振興センター浜田普及部、長島主任技師による「農薬の適正使用について」の説明が行われ、ポイントとして、①使用できる農薬の確認。②有効成分の使用回数を守る。③希釈倍率を守る。④散布用の道具、手袋を使用する。⑤ドリフト対策をする。（ドリフト…農薬の圃場外への飛散）⑥農薬の散布記録を記帳する。の6つのポイントの説明がありました。

参加者は、散布にはラベルの確認が重要だと改めて認識をされていました。

実習では、防虫ネットの撤去と、キャベツは収穫が遅くなると、葉が紫に固くなってしまいうので一部収穫しました。今年は、日照不足の影響で生育が遅れています。また、キャベツの収穫が終わると玉葱、春菊、空豆などに追肥を行いました。



座学



実習

いわみ中央産直振興協議会浜田支部 視察研修

いわみ中央産直振興協議会浜田支部（支部長 松本昭二、産直会員241名）は、12月5日店舗視察と種苗会社視察の研修を行い38名が参加しました。店舗視察ではJA山口中央農産物直売所ぶちええ菜の店舗視察を行いました。視察では、店舗面積や売上など店舗の概要説明を受け栽培履歴提出率100%の状況など熱心に担当者の話に耳を傾けていました。



キャベツ圃場視察

種苗会社視察では、株式会社山陽種苗に行き、同社の平田園芸指導部長より玉葱栽培についての品種、作型、除草剤使用についての講義をいただき、玉葱栽培について学びました。圃場視察では、キャベツ圃場にてキャベツの播種から収穫について、一連の講義をいただきました。参加者は、担当者の話に耳を傾けたくさんの質問もでて有意義な研修会となりました。



ぶちええ菜の視察



玉葱栽培について講義

いわみ中央産直振興協議会三隅支部 先進地視察研修会



いただきま〜と川中店の視察



いただきま〜と川中店の研修

いわみ中央産直振興協議会三隅支部（支部長 峠田 等、産直会員83名）は、11月28日JAファーマーズマーケットふれあいランド萩（萩市）の店舗視察とJA下関農産物直売所いただきま〜と川中店（下関市）の先進地視察研修を行い16名が参加しました。

店舗視察のふれあいランド萩では、萩漁協の入店により海産物や肉類の販売が特徴的でした。

視察研修では、いただきま〜と川中店の田中店長より、売場面積をはじめ会員数、入会金、売上、手数料、商品構成比、生産履歴提出率などの説明を受けました。

生産履歴は、システムの運用により100%でした。

また、生産者の高齢化、後継者不足の問題をかかえており、出荷については頭打ちを感じられていました。

参加者は、熱心に耳を傾け、たくさんの質問も出て有意義な研修会となりました。



ふれあいランド萩の視察

三隅の帰る旅行

JAしまねいわみ中央女性部三隅（石本まゆみ部長）は、11月25日、広島県にある「清水劇場」へ日帰り旅行へ出かけました。

お芝居と、歌謡ショーの2部構成の観劇で、どちらも女形の役者さん達にうつとりし、引き込まれていきました。お芝居では時々笑いも起こり、非日常的な時間を楽しむことが出来ました。部員からは「女の私たちより、仕草も綺麗だね。見習わない」と声が上がりました。

また、立ち寄った産直市場では「手作りこんにゃくの実演販売」を見学し、こんにゃく作りの得意な三隅女性部さんたちは熱心に話しかけ、参考にしていました。

帰りのバスの中では、恒例のクイズ大会を三隅支店 永見支店長が行い盛り上がりしました。三隅フェスティバルの慰安も兼ねた旅行でしたが、支部同士の交流も深まり良い思い出となりました。



女性部がお正月準備 “日本の伝統料理”

JAしまねいわみ中央女性部は、12月に入ると各支部でお節料理教室が始まります。今年も家の光12月号をテキストに教室が行われました。

定番お節と言っても、いざ家庭で作るとなると手間のかかるものです。1品1品心をこめて作られるおせち料理は、家族みんなで元気で新年を迎えられようにと願い、日本の伝統料理です。

各支部では、今年こそは1品でも作ってみようたくさんの部員が集まって来られました。今年は、メニューに、お雑煮も加えてみました。

今回のメニュー

- ・ 五色なます
- ・ 牛肉の八幡巻
- ・ 鶏肉の香味焼き
- ・ たたきごぼう
- ・ ホタテとミツバの卵焼き
- ・ 伊達巻
- ・ 雑煮

浜田女性部青葉会



浜田女性部青葉会



浜田女性部さくらの会



三隅女性部芦谷支部



三隅女性部芦谷支部



江津女性部金田支部



おせち料理”

ふれあい運動会

370人が集合



選手宣誓
石田支店長と小西女性部長



パンくい競争



なかなか勝てないじゃんけん



玉入れ



優勝した弥栄チーム



いわみ中央地区本部は、12月2日（土）に、浜田市県立体育館でJA役員と女性部が約370名の参加し、ふれあい運動会2017を開催しました。このふれあい運動会は、女性部と職員のふれあいと親睦、そして健康づくりを目的に開催し、今年で2回目を迎えます。

6地域にチーム分けし、それぞれのチームに職員が入り、各競技には全員が出場しました。競技の一つ縄ない競争では、女性部の皆さんの腕の見せ所。藁がなえない職員がいると心配そうに近づいて指導される姿もありました。応援にも熱が入り、仮装する職員や子供たちの可愛い声援の中で

JA役員とJA女性部が親睦

ふれあい運動会開催!

選手もパワー全快。会場は笑い声援でいっぱいになりました。職員と女性部の会話も弾み楽しい雰囲気の中、競技はあっという間に終了。見事栄チームが優勝しました。「ほんとに、今日は楽しかったあ！また参加したいです。是非来年も声を掛けてください。」と会話されていました。

半日の短い日程の中で、共に手を取り合って競技に参加し、支店の職員の名前さえも知らなかった女性部の皆さんに顔と名前を覚えていただけたと思います。

いわみ中央地区本部は、地域の皆様との出会いとふれあいを大切にぐらしの活動を展開していきます。

平成29年度 JA冬季座談会開催日程・会場

開催日 (平成30年)	曜日	開始時間	支店・事業所名	開催場所
2月2日	金	9:30	弥栄支店	憩の家
		13:30	弥栄支店	弥栄支店2F
		9:30	金城支店	久佐公民館
2月4日	日	13:30	金城支店	金城支店2F
		13:30	弥栄支店	野坂集会所
2月5日	月	9:30	江東事業所	都治地域コミュニティ交流センター
		13:30	江津支店	Aコープごうつ
		9:30	旭支店	丸原センター
2月6日	火	13:30	旭支店	坂本構造改善センター
		9:30	浜田東支店上府事業所	上府事業所2F
		13:30	浜田支店沢沢事業所	ふれあいホール
2月8日	木	9:30	長浜事業所	長浜事業所
		13:30	浜田西支店	周布公民館
		9:30	美川事業所	美川事業所2F
2月8日	木	13:30	美川事業所	美川西公民館
		9:30	江津支店	松平地域コミュニティ交流センター
		13:30	江津支店	松平地域防災拠点施設

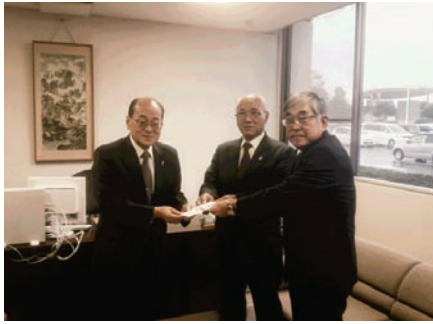
開催日 (平成30年)	曜日	開始時間	支店・事業所名	開催場所
2月9日	金	9:30	旭支店	木田生活改善センター
		13:30	旭支店	重富生活センター
2月13日	火	9:30	雲城出張所	みどり会館2階中集会室
		13:30	雲城出張所	かたらいの家
		9:30	江津西支店	二宮地域コミュニティ交流センター
2月14日	水	13:30	金城支店	美又公民館
		9:30	旭支店	都川高齢者活動促進センター
2月15日	木	13:30	旭支店	市木生活改善センター
		9:30	江津西支店	波子地域コミュニティ交流センター
2月16日	金	13:30	江津西支店	跡市地域コミュニティ交流センター
		9:30	波佐事業所	ときわ会館
2月19日	月	13:30	波佐事業所	小国公民館
		9:30	三隅支店	井野みのり会館
2月22日	木	13:30	三隅支店	三隅支店2F
		9:30	三隅支店	岡見公民館

J.A.しまね「いわみ中央ゴルフ友の会」 チャリティーコンペで地域貢献！

11月22日に金城カントリークラブにて、J.A.しまね「いわみ中央ゴルフ友の会」チャリティーコンペが開催されました。当日は記念すべき第150回目のコンペでもあり、寄付を募ったところ、ご参加頂いた32名全ての会員より、多くの寄付が集まりました。

なお、集まりました寄付は12月4日にゴルフ友の会の前本会長と井上本部長が、浜田市社会福祉協議会を尋ね、大谷会長へ手渡されました。

毎年行っている活動であり、今後もJ.A.しまね「いわみ中央ゴルフ友の会」では地域貢献活動を続けて行きます。



J.A.しまね 窓口セールス ロールプレイング大会開催

J.A.しまねでは「信頼され、選ばれ、必要としていただけるJ.A.」を目指し、12月9日にラピタウエディングパレスで窓口セールスロールプレイング大会を開催しました。

ロールプレイングでは、窓口担当者役とお客様役を設定しロール（役割）をプレイ（演じる）こととなります。

いわみ中央地区本部からは2チーム6名が参加し、実際の場面を想定しながら、窓口担当者の応対力やセールス技術を競うとともに相互研鑽を図りました。J.A.しまねではお客様満足度向上に向けた取り組みを継続していきます。

いわみ中央Aチーム



いわみ中央Bチーム



J.A.の出前授業 旭小学校へ

いわみ中央地区本部では、浜田市立旭小学校において5年生を対象に米づくりについて出前授業を行いました。児童は今年の4月よりJ.A.の育苗施設において、種まきの見学を初め5月には田植えを行い、6月は町内の棚田の見学、10月は稲刈りを行いました。

今回は座学として米づくりの基本の勉強を行いました。講師はJ.A.しまねいわみ中央地区本部旭営業経済センターの幸田センター長が児童12名に、教材としてJ.A.グループ家の光協会発行である農家の子供向け月刊誌「ちゃぐりん」を使い授業を行いました。

また、児童5年生は学習発表会において、「お米づくりの大切さ」をテーマとした演劇を行ったと聞いています。

授業の内容は、お米の基本・お米ができるまでの季節の作業・田んぼの生き物・田んぼが守ってきたものなどを学習しました。お米の種類（現物）や水分計を使ってお米の水分の重要性についても学びました。

また、授業の最後には「おもしろお米クイズ」を出題し、頭を捻りながら考えていました。

終わりに、児童から「田んぼは私たちが守ってくれている」とか「朝食にご飯をなぜ食べないといけない」など、お米の大切さをしっかり勉強したと思います。



児童たちが考えた
お米のネーミング



● 12月講義「テーブルマナー」



JIA女子大学いわみ中央キャンパス12月の講義は『テーブルマナー』を浜田ワシントンプラザホテルで、総支配人 黒柳 裕司氏に講義いただきました。今回は、女子大学OG会との合同企画で、参加者は30名。実際にオードブル・スープ・メイン・サラダ・デザート・コーヒーまでのフルコースをいただきながらのテーブルマナー講義でした。

席の座り方から始まり、ナプキンの使い方・カトラリーの使い方etc細かいところまでご指導いただきました。そして、「食を通して相手と楽しい時間を共に過ごすための心配りが大切である。」とテーブルマナーの基本を教わりました。

参加者は、「おいしい食事をいただきながらおしゃべりをし、テーブルマナーも学べてとても良かった。」と、少し早い自分へのクリスマスプレゼントとなり大満足の講義となりました。



JAしまね いわみ中央地区本部

新春謝恩企画

早春の富士山 2日間

ぐるっと一周 絶景スペシャル

■旅行出発日 平成30年

2月28日 水・3月11日 日

■旅行代金

夫人お1人様
2~4名様1室利用

49,800円



掲載のツアーは、この広告での申し込みを受け付けておりません。
※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております。お気軽にJA旅行センターまたは最寄りの支店へご請求ください。

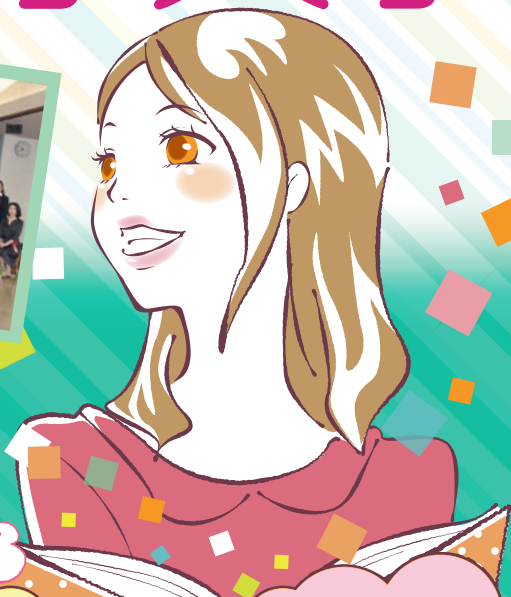
7 Tour 株式会社農協観光

JAしまねいわみ中央旅行センター TEL 0855-22-8820

2018年 4月開校

第5期生
募集

JA 女子大学



出願期限
平成30年 **3月15日(木)**

定員になり次第締め切ります

入学式
平成30年 **4月5日(木)**

10:00~12:00

入学試験：ただいま免除中

入学資格：JAしまねいわみ中央管内在住の方 20歳代~40歳代の女性
准組合員加入(出資金1,000円 入学金に含む)

入学金：10,000円(受講料含む) ※講座によっては材料費がかかることがあります。

定員：30名

受講期間：平成30年4月より平成32年3月末まで(2年間コース)

主会場：JAしまねいわみ中央地区本部(浜田市東川町3741)

託児所：1回300円(事前申し込み必要)

卒業資格：2年間で10講義以上出席

アドミッション
ポリシー

「元気を仲間とつくりたい」
「知恵と技を身に付けたい」
「もっと輝く心と身体をめざしたい」
JA女子大学では、
そんなあなたを待っています

やりたいこと見つけて、
楽しく学んで！
新しい仲間をつくろう♪

第5期 JA女子大学 いわみ中央キャンパス カリキュラム

受講日	科目	講座	内容	講師	場所
4/5(木) 10:00~12:00		入学おめでとう、今日から始める仲間作り 入学式	開校式 オリエンテーリング	JA対応	いわみ中央 地区本部
5/10(木) 10:00~12:00	実践	作品を鑑賞しながら「女子会」をしよう ハーバリウム	ハーバリウム作りと 茶話会	FEJ協会公認 岩本 晶子	いわみ中央 地区本部
6/14(木) 10:00~12:00	実践	汗を流して、心と体のリフレッシュ エアロ&ヨガ	エアロビクスと ヨガの基本を学ぶ	AFFA認定 インストラクター 蕃田 陸美	いわみ中央 地区本部
7月			休講		
8/9(木) 9:30~12:30	実践	夏休み親子で参加OK 「魚」の料理	魚のさばき方を学び 魚料理作り	JA対応	石見公民館
9/13(木)	実践	ミニミニ旅行で施設の見学 管内めぐり	いわみ中央管内めぐり	JA対応	いわみ中央 地区本部管内
10/11(木) 10:00~12:00	座学	知っておくと役に立つ 葬祭マナー	葬祭の作法を学ぶ	JA対応	いわみ中央 地区本部
11月			休講		
12/13(木) 9:30~12:30	実践	手作りお節で正月を迎えよう お節料理	家庭で出来る簡単 お節料理作り	JA女性部	石見公民館
1/10(木) 10:00~12:30	座学	自分の体を自分で守る 乳がんチェック・リンパマッサージ	乳がんチェックと リンパセルフマッサージ	JA島根厚生連	いわみ中央 地区本部
2/14(木) 10:00~12:00	実践	手作り我が家の味を 味噌作り	大豆と麹で味噌作り	JA対応	石見公民館
3/14(木) 10:00~12:00	座学	プロに教わる旬の果実の楽しみ方 柑橘類のお話	旬の柑橘類のお話 食べ比べ	日本野果学リリエ協会認定 野菜ソムリエプロ 佐々木 由香利	いわみ中央 地区本部

受講日	科目	講座	内容	講師	場所
4/11(木) 10:00~12:00	実践	手作りで美味しい ソーセージ作り	ソーセージ作り	ケンボロー 手作りハム工房	いわみ中央 地区本部
5/9(木) 10:00~12:00	実践	初心者でも大丈夫、生け花を気軽に楽しもう 生け花	生け花の基本を学ぶ	JA対応	いわみ中央 地区本部
6/13(木) 10:00~12:00	実践	睡って楽しく筋力アップ ベリーダンス	ベリーダンス体験	JA島根厚生連	いわみ中央 地区本部
7/11(木) 10:00~12:00	実践	夏祭りには浴衣でお出かけ 浴衣の着付け	日本の文化を学びながら 着付け体験	JA対応	いわみ中央 地区本部
8月			休講		
9/12(木) 9:30~12:00	実践	オリジナルのお茶を作ろう 茶摘み体験	お茶の葉を摘んで お茶作り	扇原茶園	扇原茶園
10/31(木) 9:30~12:00	実践	地元の特産品作りに挑戦 干し柿作り	西条柿の収穫 干し柿作り	管内生産者	いわみ中央 地区本部
11月			休講		
12/12(木) 10:00~12:00	実践	お正月準備を手作りで しめ縄・門松作り	しめ縄・門松作り	地域の方	いわみ中央 地区本部
1/9(木) 10:00~12:00	実践	陶芸	卒業記念品作り	雷舟窯	いわみ中央 地区本部
2/13(木)	実践	もうすぐ卒業、仲間と思い出作り 日帰り旅行	マナー教室・日帰り旅行	ホテル玉泉	ホテル玉泉
3/12(木) 10:00~13:00		卒業おめでとう！ 卒業式	修了証書授与式・会食		いわみ中央 地区本部

※講座の内容・日程は変更する場合があります。

お問い合わせ JA女子大学事務局

JAしまねいわみ中央地区本部 TEL:(0855)22-0202 FAX:(0855)23-3184

メールアドレス:fureai.iwc@ja-shimane.gr.jp

JA年金友の会ふれあい大会

(平成28年度業績還元)

抱腹絶倒

バラエティショー

in いわみ



平成30年

とき

3月16日(金)

会場

石央文化ホール

開演/13:30 開場/13:00~

お申込み頂ける方

JAで年金をお受取り頂いている方、
又はJAで年金のお受取りをご予約頂いてる方

お申込み方法

ご希望の方は、いわみ中央地区本部内最寄りの
支店等にお申込みください。

※お申込みにあたりお知らせ頂きました個人情報は、本イベントに関してのみ使用いたします。

お申込み期限

平成30年2月16日(金)まで ※ただし満席なり次第募集を締め切ります。

入場
無料

主催

JALしまね いわみ中央地区本部

【お問い合わせ先】 JAバンク部金融企画課 TEL.0855-22-8853
または 最寄りのJA支店等窓口まで

キラリ いー顔！

GoRise



「GoRise」は、当時まだまだマイナーな遊具だったランバイク人口を増やし、日本各地で開催され始めたレースイベントにたくさんの子供達を参加させたいという思いで、2012年に三隅町のランバイク愛好家の3家族により結成しました。近年のランバイクブームの流れもあり、現在は現役ライダーも10人を超えました。そして、日本各地で行われるレースイベントに参加する子供達も増えてきており、さらには大きな大会で入賞するなど、西日本では島根の「GoRise」はちょっと名のとあったチームです。また、3年前から「GoRise」主催のレースイベント

トを年2階開催し、島根県内のランバイク人口の拡大と県外愛好者との交流を行っております。これからも、元気いっぱいがんばりますので皆様も応援よろしくお願ひします。 代表 三浦 好真

福祉センター通信

～JA福祉用具貸与からのお知らせ～

今回はテレアンプⅢを紹介します。

固定電話が聞きづらい場合、テレアンプⅢというものがお勧めです。こちらは、補聴器を装着しつつ、電話の音声を聞いてもわかりにくい方、あるいは、電話の音声をより大きくして聞きたい方にお勧めです。では、このテレアンプとは、どのような機器なのでしょう。こちらのご紹介を致します。



テレアンプとは、固定電話の音を大きくする事ができる商品です。左側のような形状をしています。この機器を電話のコードと本体の間に設置したのち、テレアンプの設定を行う事で使用できるようになります右側はセットしたものです。

テレアンプの効果は、電話がしやすくなるだけではなく、電話に対する恐怖感を和らげる効果もあると思っています。不思議な事に電話がしやすくなると電話をする回数が増え、さらに電話に関する抵抗も少なくなってきます。そして、電話を通じてコミュニケーションする機会が増えてくると、より仲が深まった、以前の状態にまで近づいたというお客様もいました。恐らく人は、本来コミュニケーションを楽しむ生き物なのでしょう。このような効果があるのがテレアンプです。気になる事があれば、まずは試してみる事からお勧めします。こちらを使用すれば、全ての音声がはっきりクリアに聞こえるかと言うと、そのような事はありませんが、おおよそのお話しは聞きやすくなります。

価格¥8,640 (税込)

デモ機を用意できますのでお問い合わせください

詳細は福祉センター 佐藤にお問い合わせ下さい ☎22-8918

退職者
高 榎 一 真 (金城支店)
羽 一 彦 (葬祭センター)
平成29年12月31日付

人事異動

2月2日(金)から3月2日(金)まで毎週金曜日に開催いたします。
いわみ中央地区本部1F応接室
午前9時～午後5時まで

税務相談会

1月28日(日) 浜田支店
浜田西支店
江津西支店
午前9時～午後3時まで

休日ローン相談会

1月26日(金) 金城支店
午後3時～午後7時まで
1月28日(日) 浜田西支店
午前9時～午後3時まで
(休日ローン相談会と同時開催)

年金相談会

タテのカギ



- ⑧友人の結婚をみんなで——した
- ⑨魚の下ごしらえの際に取ることも
- ⑩将棋に似た西洋のゲーム
- ⑪五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- ⑫温めた豆乳から引き上げます
- ⑬アルバイトの面接を受ける際、書いて持っていくことも
- ⑭ドストエフスキーの著書『——と罰』
- ⑮寒い日にはポツと赤くなる人も
- ⑯ボルトと組み合わせて使います
- ⑰セーフの対義語
- ⑱模試では合格の——が80%だった

ヨコのカギ



- ①2018年の——五輪は平昌で行われます
- ②力士が踏むもの
- ③ツルのものは長く、カモのものは平たい
- ④尺八やフルートはこの仲間
- ⑤医師に処方してもらうもの一つ
- ⑦ずいぶんと——が飛躍しているなあ
- ⑩銀世界を眺めて楽しむこと
- ⑫日本——が寒波に覆われた
- ⑬スマホで明日の天気——を調べた
- ⑭漢字で書くと最中。あんの入った和菓子です
- ⑰桃太郎の場合は犬・猿・キジ
- ⑲鬼の頭に生えています
- ⑳バレンタインの本命チョコに込めます

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
		E				
	7		11		19	
						C
2			12	15		
		10				
						B
3	8				20	
4			13	16		
5				17		
						D

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成30年2月5日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「フクブクロ」

ナ	ク	サ	フ	シ
マ	ス	イ	ハ	ン
エ	ト	ド	ン	シ
	ホ	シ	ブ	ド
マ	オ	レ	エ	ミ
ス	ト	リ	ト	ゾ
イ	ロ	キ	ク	ズ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

けんこうさんぽ 健康散歩 JA島根厚生連

正しい手洗い 出来ていますか？

風邪やインフルエンザを予防しましょう。

- ①まず、腕時計やアクセサリなどは外しましょう。
- ②流水で手を洗い、石けんを適量手に取って両手でよく泡立てます。
- ③手のひら全体をこすり合わせ、泡を伸ばします。
- ④手の甲をもう片方の手のひらで、こするようにして洗います。
- ⑤両手の指と指を組むようにして、指の間をもみ洗います。
- ⑥親指をもう片方の手のひらで包み込み、軽く回転させて洗います。
- ⑦指先で、もう片方の手のひらを引っ掻くように動かして洗います。
- ⑧手を反対の手のひらで軽く握り、回転させて洗います。
- ⑨15秒程度流水で、泡を完全に洗い流します。
- ⑩最後に、清潔なタオルやペーパータオルなどで水分をよく拭き取り、しっかりと乾かしましょう。

★★手洗いをするときには、次の手順でしっかりと洗うようにしましょう★★

風邪やインフルエンザの予防のために、帰宅時や食事の前など手洗いをすることが習慣になっている方も多いと思いますが、なぜか毎年、風邪やインフルエンザは流行ってしまいますよね。風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、「手」を介して体内に侵入することが多いと言われています。洗い残しのないような手洗い、みなさんは出来ていますか？

普段、私たちが触れるドアノブや手すりなど様々な場所に、目には見えない細菌やウイルスなどが付着しています。そういった場所を触った手で、自分の眼や鼻、口を触ったりすることで体内に侵入し、それが感染拡大のきっかけとなるのです。様々な感染症から身を守るためには、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切になります。

得々プラン

やっぱり玉泉

2018.1/4(木)~3/16(金) 除外日:土曜日、休前日

2名様~14名様 限定
1日5組 限定

お1人様/1泊2食付 一室3名様~
お1人様/1泊2食付 一室2名様

12,000円 (税込)
14,000円 (税込)

●夕食会場の個室指定は、1名様1,080円(税込)増し
●ご宿泊前日迄お受けいたします

さらにもう一品
通常価格/ズワイ蟹一杯 3,780円
しまね和牛ステーキ(100g) 3,240円

それぞれ 特別価格 **1,080円** (税込)

ズワイ蟹一杯
しまね和牛ステーキ(100g)

お申し込みはお近くの【JAしまね】旅行センターへ

旅行センター本部 出雲市斐川町直江5030番地	0853-25-8907	斐川旅行センター 出雲市斐川町莊原2172番地3	0853-73-9625
くにびき旅行センター 松江市西川津町1635番地1	0852-55-3041	石見銀山旅行センター 大田市長久町長久ハ56番地1	0854-82-3501
やすぎ旅行センター 安来市下坂田町1075番地1	0854-28-6699	島根おおち旅行センター 邑智郡邑南町下田所277番地	0855-83-0008
雲南旅行センター 雲南市木次町里方1088番地6	0854-42-9118	いわみ中央旅行センター 浜田市黒川町3741番地	0855-22-8820
出雲旅行センター 出雲市今市町87番地	0853-21-3305	西いわみ旅行センター 益田市駅前町15番地1	0856-22-8587

ホテル玉泉利用割引
-JA共済保養施設利用割引- がご利用頂けます。

利用対象/本県JA共済加入者、組合員およびその家族
割引金額/宿泊 **2,000円** 休憩 **1,000円**
※一人当たりの利用金額が3,500円以上の場合適用致します。

曲水の庭
出雲・玉造温泉
政府登録国際観光旅館(登録第880号)
島根県松江市玉湯町玉造 53-2

TEL.0852-62-0021(代)
http://www.hotel-gyokusen.co.jp

電話受付時間 平日 9:00~19:00
土日祝 10:00~19:00

国民年金の第1号被保険者の皆様へ 国民年金基金に入りませんか!



国民年金基金とは

老後に受け取れる国民年金(老齢基礎年金)はご夫婦で月に約13万円。

しかし、高齢者世帯は、月約27万円かかると言われています。

この不足分を補うものとして、サラリーマンなどの人(第2号被保険者)には厚生年金がプラスされますが、自営業などの人(第1号被保険者)はご自身で上乗せしなければいけません。そこで、用意されている公的な個人年金が国民年金基金です。

加入できる人は?

20歳以上60歳未満の国民年金保険料を納付している国民年金の第1号被保険者の方および日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方が加入できます。

年金の給付は?

年金額の加入口数、年金受取期間は給付の型によって決まります。

毎月の掛金は?

掛金は加入時の年齢、性別、選択する給付の型と口数によって決まります。

問い合わせ先

島根県国民年金基金

0120-654192

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター5階 <http://kokuki-shimane.or.jp/>

島根産の食材レシピ 《しまねうれしぴ》

料理研究家 土井小百合

ごまめのマリネ



お正月のごまめアレンジです。ごまめが、子ども大人も好きなマリネになります。沢山の野菜も一緒に食べられるおいしいマリネです。食材はすべてサツと揚げるのがポイントです。

●材料 (4人分)

ごまめ……………	30g	酢……………	大さじ4
〔玉葱……………	1/2個	砂糖……………	大さじ2
塩……………	小さじ1/3	塩……………	小さじ1
きゅうり……………	1/2本	オリーブ油……………	大さじ2
さつま芋……………	小1個		

●作り方

- ①玉葱は塩をふって2～3分おき、水に3分ぐらいつけて流水で洗い水気を絞る。
- ②バットに酢、砂糖、塩、オリーブ油を入れ混ぜて①を入れる。
- ③さつま芋は細切りにし、水にさらしてアクをとり、ザルにあげ水気をふき取る。
- ④油を180℃に熱し、ごまめをさつと素揚げし、さつま芋を素揚げし熱いうちに②に浸けて味をなじませる。
- ⑤千切りきゅうりを混ぜる。

余ってる黒豆の煮物を使い、赤ワインで黒豆のおこわ



お正月に沢山煮た黒豆を使い作るおこわです。甘い煮豆を使うのでお砂糖は入れません。沢山食べて今年も「まめ」に過ごしたいですね。

●材料 (4～5人分)

煮豆 (黒豆) ……	100g	赤ワイン……………	大さじ4
もち米……………	1合	水……………	赤ワインと合わせて2合
うるち米……………	1合	塩……………	小さじ1/3
しめじ……………	1/4袋		

●作り方

- ①もち米、うるち米は洗い、ざるにあげて1時間おく。
- ②①を炊飯器に入れ、赤ワインと水、塩を入れる。
- ③汁気を切った黒豆の甘煮としめじを入れ普通に炊く。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、雪化粧の松江城。城下町松江のシンボルで、「千鳥城」とも呼ばれています。全国で現存する12天守の一つで、山陰地方で唯一の現存する天守閣であり、平成27年7月に国宝に指定されました。また、城山公園は「日本さくら名所100選」に選ばれており、島根県を代表する観光地の一つとして、全国各地から観光客が訪れています。

組合員・利用者の皆様へ (お詫び)

このたびJAしまねにおいて、臨時職員による給油カードの不正利用がありました。(JA店舗用の給油カードを自分の車のガソリン給油に使用。被害総額65,801円。全額返済済み。) 今後、係る事態を引き起こさないために、なお一層の法令遵守(コンプライアンス)の徹底を図ってまいります。農業協同組合としての果たすべき役割と使命を深く認識し、綱紀粛正を図り、信頼回復に向け役員一丸となり、新たな決意のもと、誠心誠意業務に取り組む所存であります。

平成30年1月
島根県農業協同組合
代表理事組合長 竹下 正幸

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

